

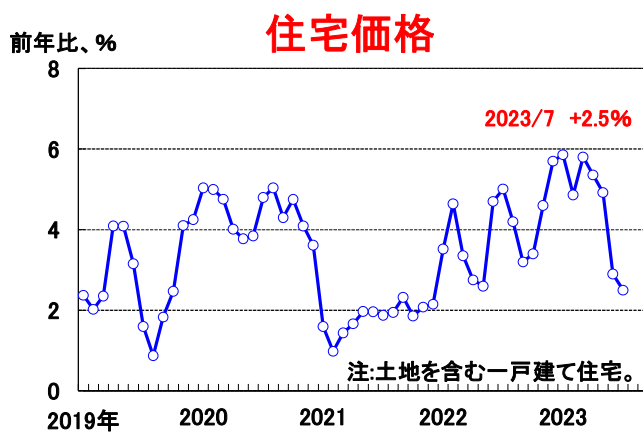
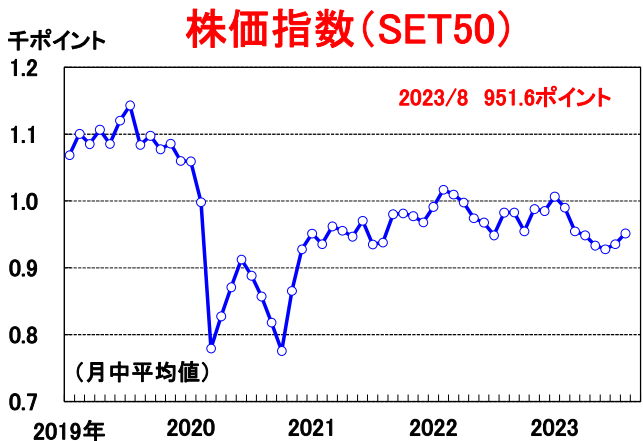
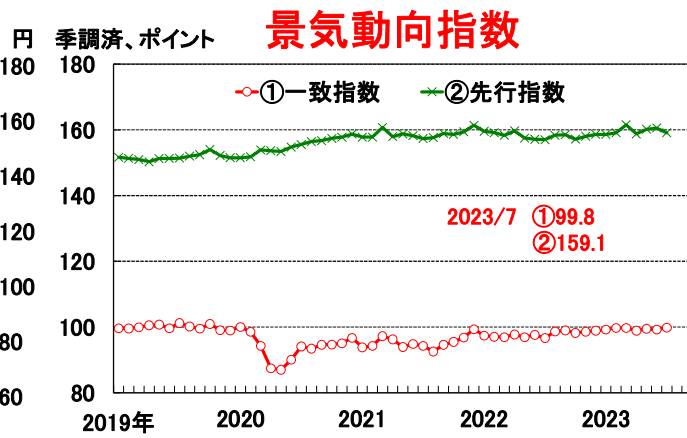
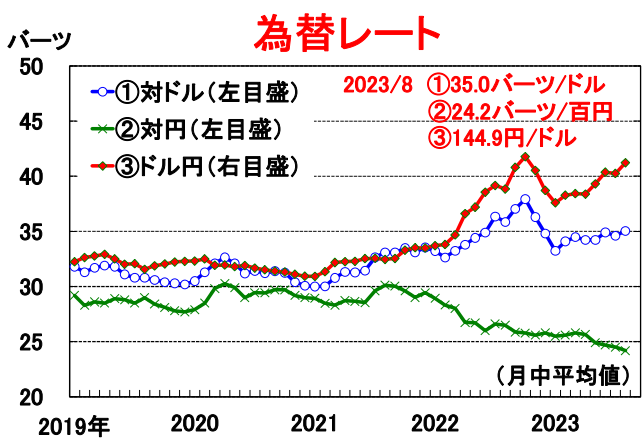
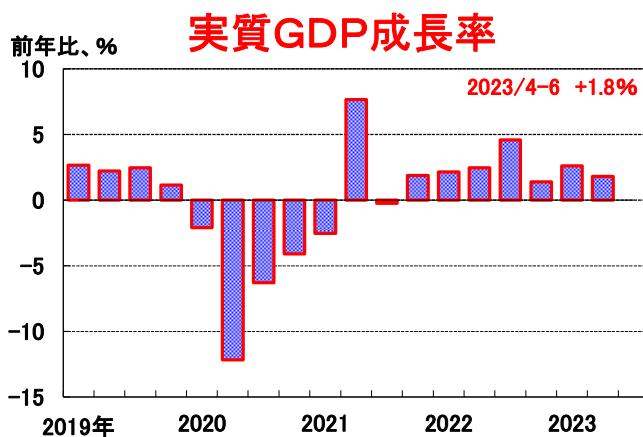
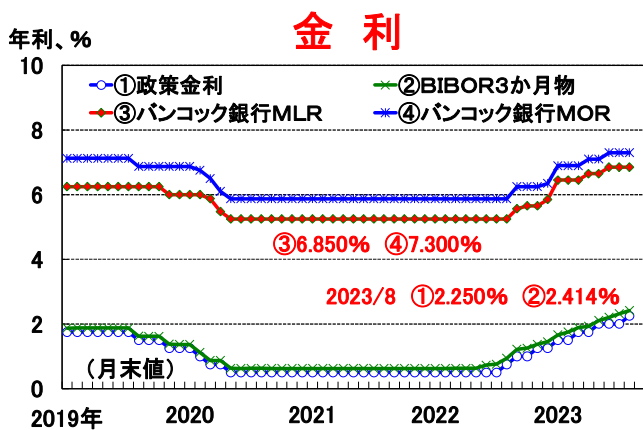
グラフで見るタイ経済 2023年9月号(No. 171)

2023年4～6月期のタイの実質GDP(国内総生産)は前年比+1.8%と前期(同+2.6%)に比べて成長率が低下した。内訳をみると、個人消費が耐久財消費の堅調な増加などにより加速したものの、公共投資は前年割れに転じ、財の輸出も米国向けの減少などにより3四半期連続で前年割れとなった。他方、直近の月次指標をみると、強弱まちまちの動きとなっている。7月の民間投資指数は建設資材販売の増加などにより再び上昇した。一方、8月の製造業PMIは48.9と中立水準の50を下回り、製造業の景況感が悪化していることが示された。

【足元の景気判断】

指標	景気全般	輸出	民間投資	個人消費	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果	⇒	⇩	⇩	⇩	⇒	⇩

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

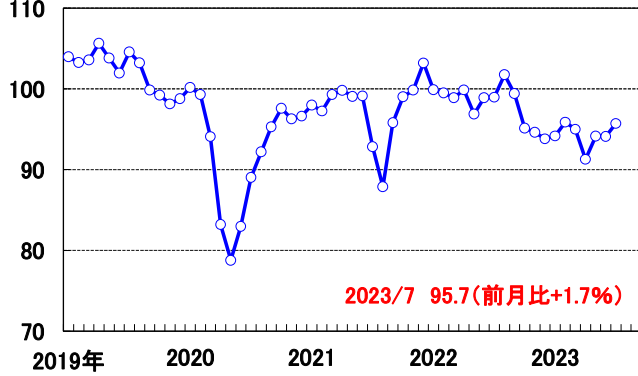


(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

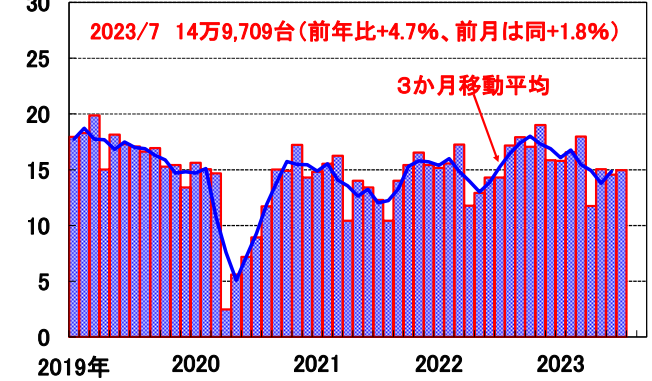
季調済
2016年=100

工業生産指数



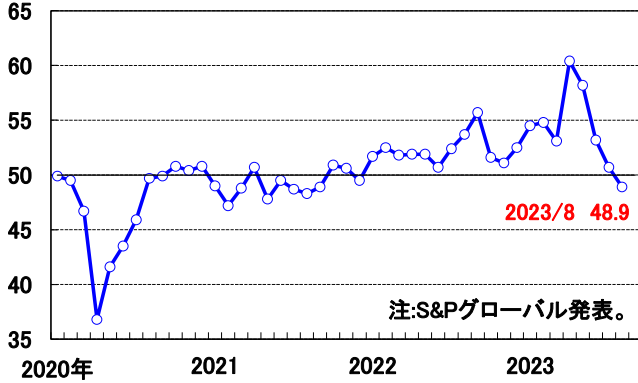
万台

自動車生産台数



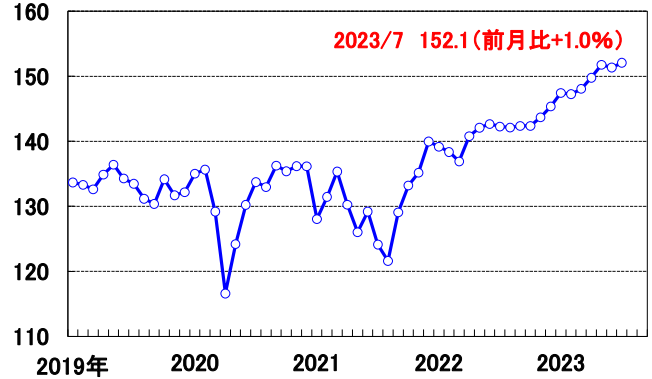
季調済
中立水準=50

製造業PMI



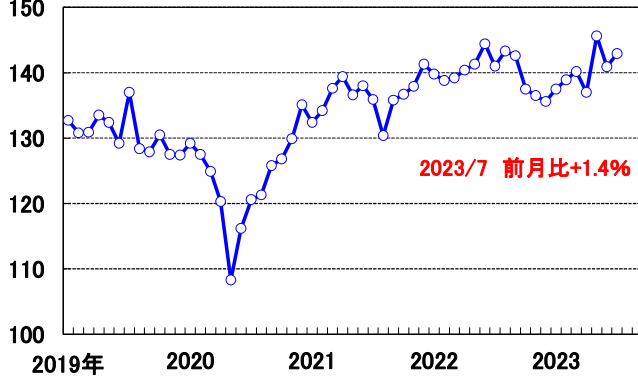
季調済
2010年=100

個人消費指数



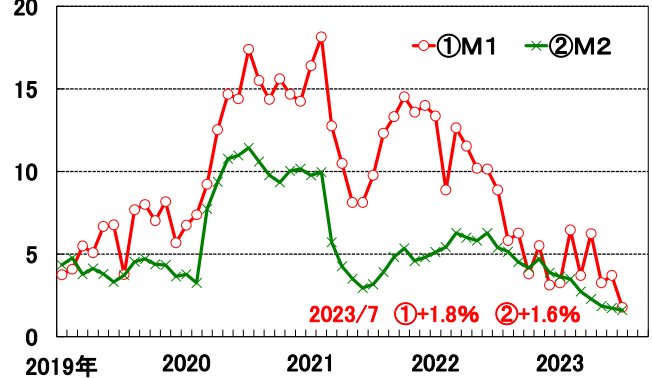
季調済
2010年=100

民間投資指数



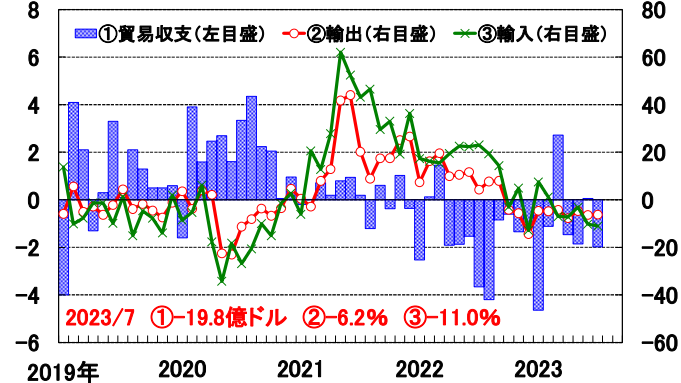
前年比、%

マネーサプライ



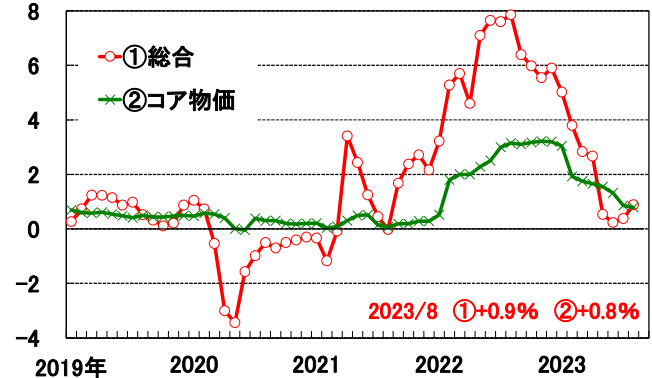
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。